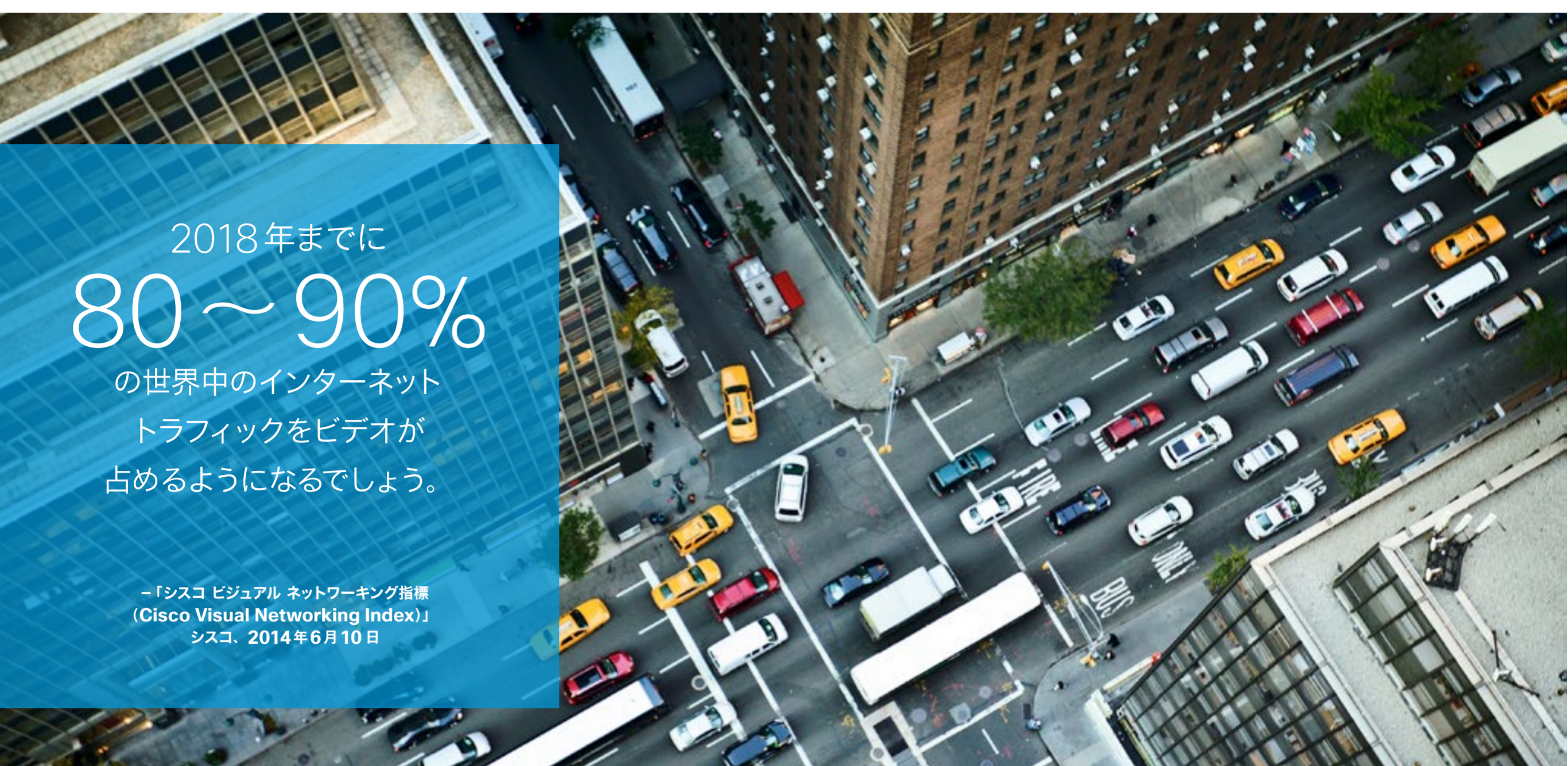


# ビデオ コラボレーションを成功させるための5つのステップ

ビデオ コラボレーションへの移行の動きは大きくなる一方で。これからの世代は、電話よりもまず先にビデオの使い方を学ぶようになります。手軽な高解像度ビデオに比べて、音声のみの通話を不自由に感じる傾向も強くなっていくでしょう。時代の一步先を読み、成功を手に入れましょう。



2018年までに  
**80~90%**  
の世界中のインターネット  
トラフィックをビデオが  
占めるようになるでしょう。

—「シスコ ビジュアル ネットワーキング指標  
(Cisco Visual Networking Index)」  
シスコ、2014年6月10日

## 1. 相互運用性を確認すること

ビデオ コラボレーションの導入には、すべてのコンポーネント（音声、ビデオ、Web会議）が相互に機能することが重要です。そうすれば、全員が既に持っているツールを使って問題なく会議に参加できるようになります。



基本的な相互運用性の基準：

- 通話開始
- コンテンツの共有
- 通話品質
- 通話のセキュリティ

▶ ビデオ通話は、普通の電話のようにかけられることが基本

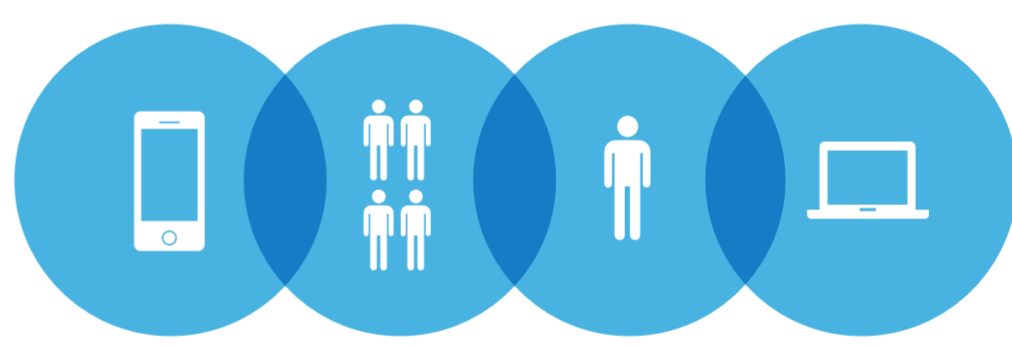


## 2. 将来に備えること

ビデオ コラボレーションは、長期的に使用されるものです。現在のニーズだけを考慮してインフラストラクチャを設計すれば、確実に失敗への道を歩むことになります。ビジネスの成長に合わせてソリューションも拡張できるように、スケーラビリティを重視しましょう。

## 3. 適切なエンドポイントを選択すること

ビデオの導入においては、すべてのケースに対応できるソリューションはありません。業務効率を最大化するために重要なことは、仕事のやり方と、状況別に最適なエンドポイント（端末）を理解することです。ビジネス ニーズ、成長戦略、ユーザーの特徴をよく理解したうえで、業務環境の変革に最適なソリューションをお選びください。



- モバイル ワーカーには、ソフトウェア ベースのソリューションを選択
- 会議の多いグループには、据置型のソリューションを選択
- デスクを使用しない従業員には、共有またはマルチユース エンドポイントを選択
- ビデオ、ファイル共有、プレゼンテーションには多目的のソリューションを選択

「ひとつのエンドポイントに絞るのではなく、エンドポイントの上手な使い分けを知ることが重要なのです。」

—「ビジネスへのビデオ導入を成功させるための5つのステップ  
(Deploying Business Video: 5 Steps to Success)」  
シスコ ブログ ロベルト・デ・ラ・モラ、2013年



## 4. コラボレーションを最大限に活用すること

コラボレーションの活用方法は会議だけではなく、インテリジェント ビデオ ソリューションを導入すれば、重要なディスカッションや告知を録画したりストリーミング配信を行うことができるだけでなく、仮想タウンホールでライブ イベントを実施することもできます。研修にビデオを取り入れれば、研修の質が上がり、コストも削減できます。その結果、生産性が向上し、低コストで充実した人材育成が可能になります。

- 縦割り構造をなくす
- ディスカッションを録画して共有
- 研修の効率化
- コンテンツを変換してアイデアの共有に役立てる

## 5. 従業員が信頼できるソリューションを提供すること

すべてがうまく機能していれば、ユーザはビデオ コラボレーションの効能を肌で感じることができるでしょう。社内外のサポート サービスについて理解し、エンドツーエンドのビデオ コラボレーション ソリューションにおいて豊富な経験を持つベンダーを選択するようにしましょう。

**75%**

ビデオ コラボレーション  
ソリューションを導入している  
グローバルなビジネス リーダーの割合

—「コラボレーションの可能性を最大限に引き出す  
(Unlocking the Full Potential of  
Collaboration)」シスコ、2014年